

施設類型 上下水道施設

施設分類 庁舎等

①施設概要

上下水道事業に係る業務を行うために設置しています。

施設分類	カルテ番号	対象施設	所在地	所管
庁舎等	112	市企業庁舎	鹿渡無番地	経營業務課

【施設の位置図】



②現状と課題

【施設データ】平成 29 年度末現在

施設名	中学校地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	m ² あたり単価(千円)
市企業庁舎	四街道北	S60	33	50	1,925	直営	正26 嘱8	20,210	671	△19,539	10.498

市企業庁舎は、鉄筋コンクリート造 3 階建て（地下 1 階）、延床面積は 1,925 m²。昭和 60 年に建設した新耐震基準の建物ですが、建設から 33 年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

開庁日・開庁時間は、土日祝日・年末年始を除く毎日、8 時 30 分から 17 時 15 分まで、管理運営は直営で、管理運営費は 20,210 千円/年（市職員人件費を除く。）、行政財産使用料の収入は 671 千円/年となっています。

1 階は、上下水道事業を行う経營業務課、水道課、下水道課の執務室として使用し、窓口や電話の対応、各種申請の受付・許可などを行っています。2 階は、会議室・食堂・和室等で使用し、3 階は、上下水道事業関連の行政文書や工事図面等の書庫として使用しています。なお、2 階の諸室についての利用率は低くなっています。

※下水道事業は、平成 29 年 4 月の組織改編により水道事業と統合し、上下水道部となりました。

③施設評価と対応方針

「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」について以下のように分析しました。

【分析】

対象施設	施設の安全性、必要性	施設の有効性	管理運営の効率性
市企業庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしていますが、老朽化が進んでいます。 上下水道事業の事務執行や各種申請の受付・許可業務、利用者・施工業者等への対応業務等を行うため、今後も継続していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 2階の諸室の利用率が低い状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理の一部を委託し、効率化を図っています。

上記分析を踏まえて、当該施設については、以下のように評価し、対応します。

【評価結果】

対象施設	方向性		説明
	機能	施設	
市企業庁舎	継続	継続	<p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道事業及び下水道事業の運営を行う拠点として、今後も継続していく必要があります。 <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防保全を含め、施設の計画的な改修などを行い、長寿命化を図る必要があります。 <p>【管理運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2、3階部分の部屋の有効活用の検討が必要です。 管理運営の更なる効率化を図るため、現在の管理運営手法を検証し、他公共施設との各種業務委託等の包括化なども含め、効率的な管理運営手法についての検討が必要です。

【対応方針】

- 予防保全を含め、施設の計画的な改修などを行い、長寿命化を図ります。
- 2、3階部分の部屋の活用については、他機能との複合化なども含め、有効活用について検討します。また、管理運営の更なる効率化を図るため、現在の管理運営手法を検証し、他公共施設との各種業務委託等の包括化なども含め、より効率的な管理運営手法について検討します。
- 改築等を行う際には、効率化の観点から、他公共施設との統合等について検討します。

④展開スケジュール

課題事項	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
施設の長寿命化			●	●								
			長寿命化計画の策定									
管理運営についての検討			●	●								
			管理運営についての検討									
			(検討事項) ①2、3階部分の部屋の有効活用、②効率的な管理運営手法									